
第5回モニタリング会議 ご説明資料 (2015年4月～2015年12月業績報告)

2016年3月7日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

計画と実績の対比（全社PL）

全社の2015年4月～12月実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数字は、旅行業（とさでんトラベル）との合算であり、とさでん本社との合算数値となります

単位：百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～6月	2015/7～9月	2015/10～12月	2015/4～12月	進捗率 ②÷①
	12ヶ月 計画①	3ヶ月 実績	3ヶ月 実績	3ヶ月 実績	9ヶ月 累計実績②	
売上高	5,731	1,470	1,531	1,562	4,563	80%
売上原価	666	198	178	258	634	95%
差引収益	5,065	1,272	1,353	1,304	3,929	78%
人件費	2,648	595	698	727	2,020	76%
厚生費	304	80	100	86	266	87%
動力費	534	98	104	90	292	55%
修繕費	308	82	75	92	249	81%
物件費	120	27	32	22	81	68%
経費	1,009	224	255	233	712	71%
諸税	105	20	20	16	56	53%
減価償却費	425	102	95	114	311	73%
営業費計	5,454	1,228	1,379	1,380	3,987	73%
営業利益	-389	44	-26	-76	-58	-
営業外収益	56	36	23	12	71	127%
営業外費用	78	27	15	20	62	80%
経常利益	-411	53	-18	-84	-49	-
特別利益	470	4	37	3	44	9%
特別損失	138	18	66	45	129	94%
税引前当期利益	-78	39	-47	-126	-134	-
法人税等	2		8	0	8	-
当期純利益	-80	39	-55	-126	-142	-

<差異要因等>

- ✓ 経常利益
 - 売上高は計画を上回り順調推移しており、売上原価は旅行事業部門を計上していることなどから増加。引き続き軽油単価の低位推移により動力費が低減しているが、12月冬季賞与支給があり、第3四半期経過時点で営業利益▲58百万円、経常利益▲49百万円の赤字計上
- ✓ 特別利益
 - 軌道委託工事預り金精算28百万円、計画上年度末一括計上の路線バス補助金一部11百万円、遊休不動産売却（いの町）5百万円等
- ✓ 特別損失
 - 事業再生関連費用100百万円（専門家費用・制服代等）、軌道委託工事固定資産圧縮損28百万円等
- ✓ 当期純利益
 - 第3四半期経過時点での税引後当期利益▲142百万円

<主な勘定科目の説明>

- 動力費…軌道動力費、バス軽油費等
- 修繕費…軌道、バス事業における各種修繕等
- 物件費…水道光熱費、備用品等
- 諸税…固定資産税、自動車税等
- 減価償却費…固定資産償却、のれん代償却
- 営業外収益…受取配当金、業務委託料等
- 営業外費用…支払利息等
- 特別利益…補助金等
- 特別損失…事業再生関連費用等

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2015年4月～12月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

	単位:百万円					進捗率 ②÷①
	2015/4～2016/3 12ヶ月 計画①	2015/4～6月 3ヶ月 実績	2015/7～9月 3ヶ月 実績	2015/10～12月 3ヶ月 実績	2015/4～12月 9ヶ月 累計実績②	
売上高	1,128	294	298	284	876	78%
売上原価						-
差引収益	1,128	294	298	284	876	78%
人件費	757	177	209	219	605	80%
厚生費	87	24	31	26	81	93%
動力費	197	35	38	32	105	53%
修繕費	120	31	31	34	96	80%
物件費	29	4	9	5	18	63%
経費	164	31	47	43	121	74%
諸税	25	6	2	0	8	32%
減価償却費	60	18	19	19	56	93%
営業費計	1,439	326	386	378	1,090	76%
専属営業損益	-311	-32	-88	-94	-214	-
減価償却前専属営業損益	-251	-14	-69	-75	-158	-

<差異要因等>

- ✓ 売上高
 - 計画を上回る進捗で推移
- ✓ 費用
 - 人件費は、12月賞与月の影響あり
 - 厚生費は、賞与月及び科目計上ルール変更に伴う増加
 - 動力費は、軽油単価の低位推移により低減
 - 修繕費は、臨時修繕等あり
 - 物件費・経費等は、ほぼ計画どおりの進捗
 - 減価償却費は、計画に対しバス車両2両前倒し導入による増加（2015年4～9月に導入予定の2台を2015年3月期に前倒し）
- ✓ 専属営業損益
 - 売上が上回っていること、及び動力費低減等の費用減により、計画を上回る進捗で推移

<専属営業損益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2015年4月～12月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位：百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～6月	2015/7～9月	2015/10～12月	2015/4～12月	進捗率 ②÷①
	12ヶ月 計画①	3ヶ月 実績	3ヶ月 実績	3ヶ月 実績	9ヶ月 累計実績②	
売上高	1,000	256	272	254	782	78%
売上原価						-
差引収益	1,000	256	272	254	782	78%
人件費	558	131	155	162	448	80%
厚生費	70	18	23	19	60	85%
動力費	77	18	21	18	57	74%
修繕費	46	10	13	20	43	93%
物件費	22	5	6	3	14	62%
経費	60	13	17	14	44	74%
諸税	15	2	1	3	6	39%
減価償却費	48	11	11	12	34	71%
営業費計	898	208	247	251	706	79%
専属営業損益	102	48	25	3	76	75%
減価償却前専属営業損益	150	59	36	15	110	73%

<差異要因等>

- ✓ 売上高
 - 計画を上回る進捗で推移
- ✓ 費用
 - 人件費は、12月賞与月の影響あり
 - 厚生費は、賞与月及び科目計上ルール変更に伴う増加
 - その他項目については、ほぼ計画どおり推移
- ✓ 専属営業損益
 - 売上が上回っており、ほぼ計画どおりに進捗

<専属営業損益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

公共交通利用状況（路線バス）

路線バスの2015年4月～12月利用状況は、収入はほぼ前年並みを確保、IC利用客数は前年比98%で推移

- 本表は運送収入のみ
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

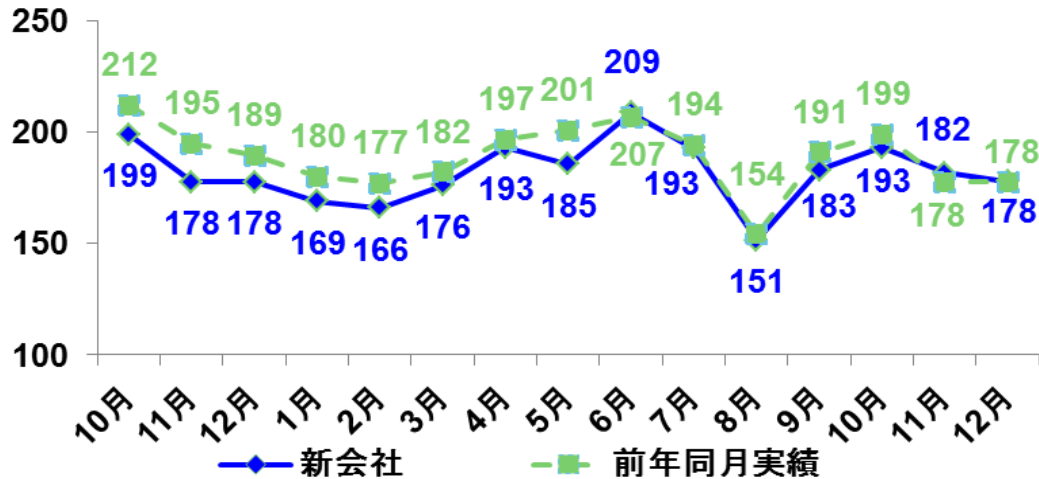
	2015/10～12月	2014/10～12月	2015/4～12月	2014/4～12月	前年 同期比 ①÷②
	3ヶ月 実績	3ヶ月 前年同期	9ヶ月 実績①	9ヶ月 前年同期②	
運送収入	277	280	856	863	99%
①定期全体	57	60	181	189	96%
②定期外収入	220	220	674	673	100%
うち、現金収入	120	118	369	361	102%
うち、SF	100	101	306	313	98%

※SFとは、ICカードに貯められた運賃のこと

＜路線バス収入の増減要因＞

- ✓ 2014年10月1日とさでん交通スタート時のダイヤ改正にて▲2.5%、及び2015年10月1日のダイヤ改正にて▲0.6%の減キロダイヤ改正を実施
- ✓ 2015年4月～12月の雨天日が前年比+18日となった影響等により、現金収入が増加
- ✓ 定期は通勤・通学共に減少。2015年4月から新たに定期ワイドフリー家族割引を導入中

＜利用客数推移＞ 単位：千人



＜利用客について＞

- ✓ 人員はICカードのデータのみであり、定期・SF収入と同様の傾向
- ✓ 6月・11月は前年比上回り、12月は同水準、以外は下回り推移
- ✓ 9ヶ月累計の今期利用客数は1,667千人、前年同期は1,699千人であり、前年同期比98% (ICカード利用客数)
- ✓ 統合直後半年の前年同期比は94%であり、今期に入り利用促進取組施策(8Pに記載)の効果が一定あらわれていると考える

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC利用率は約70%

公共交通利用状況（軌道）

軌道の2015年4月～12月利用状況は、収入は前年比104%、IC利用客数前年比101%で推移

- 本表は運送収入のみ
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

	2015/10～12月	2014/10～12月	2015/4～12月	2014/4～12月	前年 同期比 ①÷②
	3ヶ月 実績	3ヶ月 前年同期	9ヶ月 実績①	9ヶ月 前年同期②	
運送収入	230	221	716	685	104%
①定期全体	61	59	190	183	104%
②定期外収入	170	161	526	502	105%
うち、現金収入	111	102	344	322	107%
うち、SF	59	59	182	180	101%

※SFとは、ICカードに貯められた運賃のこと

＜軌道収入の増減要因＞

- ✓ 定期、定期外ともに増加
- ✓ 2015年4月～12月の雨天日が前年比+18日となった影響等もあり、現金収入が大幅に増加

＜利用客数推移＞ 単位：千人



＜利用客について＞

- ✓ 人員はICカードのデータのみではあるが収入と同様の傾向
- ✓ 5月・9月・10月は前年比下回るが、それ以外は上回って推移
- ✓ 9ヶ月累計の今期利用客数は2,286千人、前年同期は2,262千人であり、前年同期比101% (ICカード利用客数)
- ✓ 統合直後半年の前年同期比は98%であり、今期に入り利用促進取組施策(8Pに記載)の効果が一定あらわれていると考える

※定期については、第3回報告まで発売日単位で集計を行っていたが、第4回報告分より利用実績による集計へ変更
前年数値も同数値へ変更

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約50%

公共交通取組状況

路線バスと軌道のこれまでの取組施策は以下のとおりです。また、路線バスの年間路線別収支もできあがり、今後の路線再編の検討資料として活用しながら、以降も引き続き定期的に作成していきます

＜取組施策＞

内容	路線バス	軌道
■2015年4月1日以降 ※2015年12月末まで		
1. 学生ワイドフリー”家族割”定期券の発売開始	○	○
2. 移動手段に関するアンケート調査	○	○
3. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちよる〉6・12月	○	○
4. 婚活電車の運行	-	○
5. 電車の日イベント開催	-	○
6. 高校県体応援一日乗車券の販売	-	○
7. ICですかナイスエイジキャンペーン実施	○	○
8. 春・夏・冬休み！キッズ定期券販売開始 7月14日から	○	-
9. サイクル&ショップライドの取組	○	○
10. 2015年10月1日ダイヤ改正	○	-
11. 障害者割引の拡大	○	○
12. 高齢者割引の拡大	○	○
13. ローラー活動(後免地区／潮見台・中野団地地区／長崎・鹿児島地区)	○	○
14. 鉄道の日 棧橋車庫見学会	-	○
15. 電車・バス乗り方教室(イオンモール高知)	○	○
16. ICですか体験(シニア交通安全フェスタ・高知県警)	○	-
17. 新春初詣きつぷ	○	○
■2016年1月1日以降 ※2016年3月31日まで		
1. ローラー活動(天王地区／文珠通・田辺島地区他)	○	○
2. バス停の改修 50基(予定)	○	-
3. 2016年10月1日ダイヤ改正に向けたデータ収集	○	-
4. 電車・バスサービス一覧 ホームページへの掲載	○	○
5. サイバラ電車 特別一日乗車券の販売	-	○

＜路線バスの路線別収支の取組状況＞

まずは、半期データにより作成(2014.10月～2015.3月)



次に、年間データにより作成(2014.10月～2015.9月)

路線別の収支算出については、年間データを基にできあがり、今後の路線再編に活用

- 運送収入
⇒ ICカードのSF利用者、ICカードの定期券利用者、現金他(IC以外の収入)
- 運行経費
⇒ 乗務員人件費、動力費(軽油費)、他直接費、間接経費



以降も、路線再編の検討資料として定期的に作成

公共交通に係る設備投資計画の実施状況

2015年4月～12月の公共交通設備投資は、以下表のとおりです

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	総投資予定額	主な投資内容	投資予定額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	107	補助車両(5両)の購入	107	0	安全安心、利便性向上	前年度に、当年度上期の2両を先行して購入(44百万円)。16年3月補助車両3両購入予定(約60百万円)
		その他	0	1	安全安心	リースアップ車(1両)の購入他 16年1月中古車両2両購入(4百万円)
軌道	139	レールの重軌条化工事	50	0	安全安心	現在、工事中 (16年3月上旬完成予定。約50百万円)
		き電線改良	11	0	安全安心	現在、工事中 (16年3月上旬完成予定。約11百万円)
		踏切保安設備工事	10	0	安全安心	現在、工事中 (16年3月上旬完成予定。約10百万円)
		電柱建替工事	7	0	安全安心	現在、工事中 (16年3月上旬完成予定。約7百万円)
		IP無線システム他	61	9	安全安心他	※ ¹ ホイストの購入他(IP無線システム他、16年3月までに購入予定。約21百万円)
合計	246			10		

※¹ホイストとは、吊り下げ式クレーン